

## 2020年度(第1回) 教皇フランシスコ来学記念表彰 個人1人・4団体が受賞



受賞者で記念撮影

3月25日、「2020年度(第1回)上智学院「コ来学記念基金」の事業「教皇フランシスコ来学記念表彰」の表彰式が執り行われた。

この表彰制度は、19年11月に教皇フランシスコが本学を訪問された記憶を永く留めるために設立された「教皇フランシスコ来学記念基金」の事業の一つ。貧困・社会的弱者の課題、多文化共生社会の実現、地球環境問題などに取り組む教育研究活動や学生・生徒の活動を対象に、当該年度に取り組みを実施した学生・生徒や教職員を表彰するものである。

第1回は、12件の応募の中から、個人1人と4つの団体が受賞した。

選考委員の李聖一カトリック・イエズス会センター長は、「この表彰は、これまでの活動への感謝とともに、今後の活動継続に対する激励でもある。この表彰

制度が長く続き、社会にも知られ、上智ならではの制度として認知されることを期待する」と語っている。

受賞者は次のとおり。

【個人表彰】  
藤本恵夫(財務局管理グループ職員)・・・再生可能エネルギー100%の電力導入により、四谷キャンパスのCO<sub>2</sub>排出量の大幅な削減を実現

【団体表彰】  
課外活動団体 Social Refugee Support Group  
・・・日本で難民認定を希望する外国人に対する支援や難民問題を理解するための啓発活動を実施

課外活動団体「めぐこ」アジアの子どもの自立を支える会

インド・フィリピンの子どもたちへの継続的な学資支援を通じて、教育を受ける機会の保障と自立を支える活動に尽力

ソフィア オリンピック

ク・パラリンピック学生プロジェクト Beyond... 東京2020大会を契機に誰もが輝ける共生社会の実現を目指す活動を展開

上智大学ソフィア会 祝祭会・外国人留学生の支援・交流を活動の中心におき、留学生の心と生活を支援

### スーパードロバル大学創成支援事業 第2回中間評価で連続のS評価 全37大学中「S」は8校

3月5日、文部科学省「スーパードロバル大学創成支援事業」の第2回中間評価の結果が公表された。本学の取組みである「多層的ハブ機能有するグローバルキャンパスの創成と支援ガバナンスの確立」が、2017年度に行われた前回の中間評価に続いて、5段階評価(S〜D)のうち、最も高い「S」評価(優れた取組状況であり、事業目的の達成が見込まれる)を獲得した。

「前回中間評価に続いてS評価を頂いたことは、掲げた目標に向かって本学が意欲的かつ安定的に取り組んできた成果だと思います。コロナ禍をはじめとして著しい社会変化が続発しています。次なるステップは、本事業の継続性に、オンライン

を受けて、暁道佳明学長は「前回中間評価に続いてS評価を頂いたことは、掲げた目標に向かって本学が意欲的かつ安定的に取り組んできた成果だと思います。コロナ禍をはじめとして著しい社会変化が続発しています。次なるステップは、本事業の継続性に、オンライン

環境などで展開される新しい大学教育の可能性を加味しながら、同事業後を見据えて助走を開始することです」と語った。

同事業は、日本における高等教育の国際競争力の向上及びグローバル人材の育成を図るため、世界トップレベルの大学との交流・連携を実現、加速するための人事・教務システムの改革など、国際化を徹底して進める大学や学生のグローバル対応力育成のための体制強化を進める大学を支援することを目的としている。

2015年度に採択された、文部科学省「大学の世界展開力強化事業(中南米諸国)」は、19年度末で事業期間が終了し、3月18日に事後評価が公表された。

### 大学の世界展開力強化事業(LAP) 事後評価で最高のS評価 採択8プログラム中「S」評価は4件

評価対象は、事業全体の取組状況や目標の達成状況、今後の持続的な展開の見込み。加えて、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、オンラインによる交流も一部実績に含めるなどの措置が講じられた。

本学、短期大学部、南山大学による取組「人の移動と共生における調和と人間の尊厳を追求する課題解決型の教育交流プログラム」は、5段階評価で最も高い「S」評価を得た。S評価を得たのは、採択8プログラムのうち本学を含めた4プログラム。

3大学それぞれの強みを活かしたマルチキャンパス学修が実施された点や、目標を上回る派遣・受入実績をあげた点、また質の保証が透明性の高いプログラム構築の工夫や、インターシッピング受入先機関・企業などと協働してプログラムの質の向上に努めた点が評価された。また、短期留学が機能していることや、本事業により新設した特設科目が、スペイン語・ポルトガル語で本学の学生と交換留学受入生が共に学ぶことができる授業として、事業期間終了後も持続可能な形で継続開講していることから、補助期間終了後もプログラムの自立化と発展が期待できる点も評価された。

## 新副学長就任

### 5人全員が交代



左から森下グローバル化推進担当副学長、永井学生総務担当副学長、暁道学長、岡田学術研究担当副学長、伊呂原学務担当副学長、西澤高大連携担当副学長

4月1日から2期目に入った第16代学長の暁道佳明教授のもと、副学長5人が交代した。

暁道学長は「コロナ禍を乗り越え、社会貢献の各面において新たな役割が生じています。グローバル化やデジタル化と相まって、激動期にある社会に怯むことなく、この時代に学生や私たち自身の成長、発展をどう埋め込むかを追求したいと思います」と語っている。

副学長の任期は2021年4月1日から2023年3月31日まで。

▼学務担当副学長 伊呂原隆(いろはらたかし) 理工学部情報理工

## 新役員紹介

### 新学部長

文学部長 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

総務学部長 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部哲学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部哲学科教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部国際文化学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部国際文化学教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部国際文化学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部国際文化学教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部国際文化学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部国際文化学教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部国際文化学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部国際文化学教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部国際文化学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部国際文化学教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部国際文化学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部国際文化学教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部国際文化学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部国際文化学教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部国際文化学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部国際文化学教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部国際文化学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部国際文化学教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部国際文化学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部国際文化学教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部国際文化学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部国際文化学教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部国際文化学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部国際文化学教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部国際文化学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部国際文化学教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部国際文化学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部国際文化学教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部国際文化学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部国際文化学教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部国際文化学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部国際文化学教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部国際文化学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部国際文化学教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部国際文化学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部国際文化学教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

部国際文化学教授 寺田俊郎(てらたしろう) 文学

部国際文化学教授 酒井朗(さかいあきら) 総合人間

### 2020年度秋学期全学共通科目 グッドプラクティス表彰式

2020年度秋学期全学共通科目グッドプラクティス表彰式の様子

表彰式では、FD委員会委員長および副委員長の立ち会いのもと、暁道佳明学長から受賞者に表彰状と副賞が渡された。

表彰式では、FD委員会委員長および副委員長の立ち会いのもと、暁道佳明学長から受賞者に表彰状と副賞が渡された。

表彰式では、FD委員会委員長および副委員長の立ち会いのもと、暁道佳明学長から受賞者に表彰状と副賞が渡された。

表彰式では、FD委員会委員長および副委員長の立ち会いのもと、暁道佳明学長から受賞者に表彰状と副賞が渡された。

表彰式では、FD委員会委員長および副委員長の立ち会いのもと、暁道佳明学長から受賞者に表彰状と副賞が渡された。

表彰式では、FD委員会委員長および副委員長の立ち会いのもと、暁道佳明学長から受賞者に表彰状と副賞が渡された。

表彰式では、FD委員会委員長および副委員長の立ち会いのもと、暁道佳明学長から受賞者に表彰状と副賞が渡された。

表彰式では、FD委員会委員長および副委員長の立ち会いのもと、暁道佳明学長から受賞者に表彰状と副賞が渡された。

表彰式では、FD委員会委員長および副委員長の立ち会いのもと、暁道佳明学長から受賞者に表彰状と副賞が渡された。

表彰式では、FD委員会委員長および副委員長の立ち会いのもと、暁道佳明学長から受賞者に表彰状と副賞が渡された。

表彰式では、FD委員会委員長および副委員長の立ち会いのもと、暁道佳明学長から受賞者に表彰状と副賞が渡された。